

【令和6年度 授業改善推進プラン】

板橋区立 蓮根第二 小学校

○…良い点 ●…課題点

【英語】

■児童の状況	○すすんで外国語を聞き取ったり、A L Tと関わったりしている ●語彙力が未熟なため、会話やアクティビティの内容を理解できていない場面がある。【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】 ○学んだことを生かして、教科担任やA L Tとコミュニケーションしたり、ノートにまとめたりする姿が見られる。 ○学習内容（単語やフレーズ）を日常生活の中から探し、外国語活動を楽しむ様子がみられる。 ●発音に対する恥ずかしさを感じる児童がいる。 【外国語への慣れ親しみ】 ●日本語と英語の発音の違いに戸惑う児童がいる。 ●アルファベットを正確に記述することができない児童がいる。 【言語や文化への気付き】 ●初めてのことに對して消極的になりがちである。文化の違いに対する興味が薄い。
■指導についての課題	・A L Tと担任の連携（打ち合わせの時間の確保）が十分にとれない。 ・1時間の流れを明確にできていない。
■授業革新推進に向けての具体的な方策	・朝の時間、中休み、昼休みにA L Tと次回の授業について打ち合わせを行う。その際に、授業の流れや、A L Tが学習にどのように関わるかを明確にして授業を展開できるようにする。 ・音楽と共に英語を発音し、音に対する興味関心を高めたり、体を動かしながら英語の音に親しんだりする活動を取り入れる。 ・友達やA L Tと会話をする場面を多く取り入れて、体験から会話を身に付ける機会を設ける。 ・チャンツなどを活用し多様なアクティビティを取り入れる。 ・簡単な単語や表現をアルファベットで記述する活動を1単元の中に取り入れる。 ・外国語活動での学び(中学年)と外国語での学び(高学年)を関連させていけるように、該当学年は学習事項や内容を引き継いでいく。 ・語彙を増やすために、単語を部類（色・果物など）に分けて繰り返し学習させる。